

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	施設ID
				経度	
(フリガナ)					
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
			上部構造	下部構造	基礎構造

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)							()	
上部構造		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
下部構造		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
上下部接続部		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
その他(フェールセーフ)		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
その他(伸縮装置)		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側		終点側	
概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 また、画像の オブジェクト名 を「 全景写真 」として下さい。			

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		0		定期点検実施年月日		0		定期点検者		0													
構成要素				構成要素																			
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真01(数字は半角)」として下さい。												概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真02(数字は半角)」として下さい。											
写真番号		1		径間				部材番号				写真番号		2		径間				部材番号			
備考		(適宜、特記事項など)																					
構成要素				構成要素																			
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真03(数字は半角)」として下さい。												概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真04(数字は半角)」として下さい。											
写真番号		3		径間				部材番号				写真番号		4		径間				部材番号			
備考		(適宜、特記事項など)																					
構成要素				構成要素																			
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

施設ID		0		定期点検実施年月日		0		定期点検者		0		0	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)					
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他							
上部構造					－								
下部構造	－			－									
上下部接続部		－	－		－								
その他(フェールセーフ)	－				－								
その他(伸縮装置)		－	－	－	－								

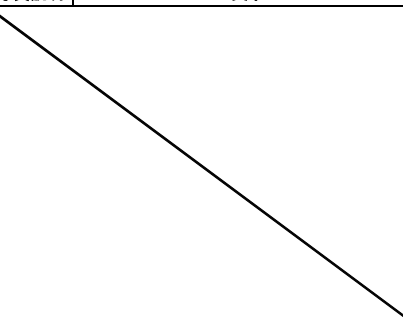
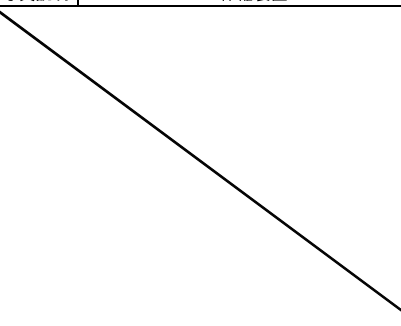
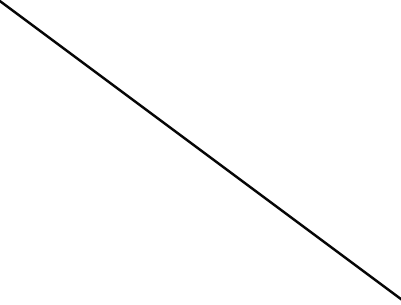
所見	(適宜、所見を記入)
----	------------

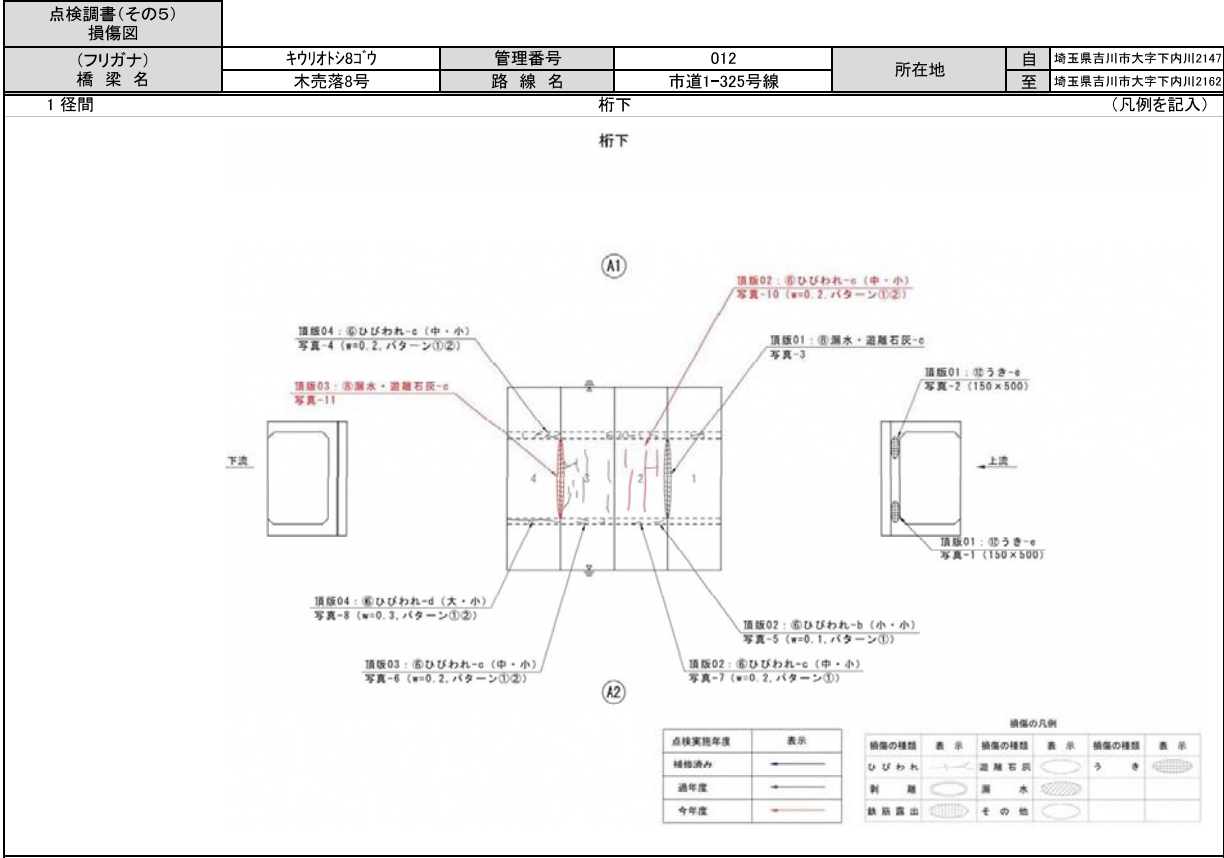
点検調書(その1)				健全度判定区分Ⅰ：健全、Ⅱ：予防保全段階、Ⅲ：早期措置段階、Ⅳ：緊急措置段階												()値は推定						
橋梁緒元と点検結果				キウリオンゴウ		管理番号		12		所在地		自 至		埼玉県吉川市大字下内川2147		点検機関		新日本設計株式会社				
橋 梁 名				木売落8号		路 線 名		市道1-325号線						埼玉県吉川市大字下内川2162		点検実施者		小山垂季				
橋梁緒元	台帳整理番号		20		道路種別		市道その他		緯度		35° 55' 23.9"		路下条件・名称		水路		木売落恵水路					
	図面番号・ブロック番号		20-4-21 1		路線番号		1325		経度		139° 51' 16.6"		河川等管理者		旭土地改良区							
	橋梁種別		道路橋		点 検 結 果				点検方法・桁下高さ		地上		1.35 m									
	橋梁形式		ボックスカルバート(製品)		前回点検年月日		2019年2月26日		主部材健全度		Ⅱ		付属部材健全度		Ⅰ		橋梁健全度		Ⅱ		平成25年 吉川市橋梁健全度	
	適用示方書		平成6年2月(1994年)		今回点検年月日		2023年10月31日		主部材健全度		Ⅱ		付属部材健全度		Ⅰ		橋梁健全度		Ⅱ		平成31年 道路橋梁検査規程(国土交通省)	
	供用開始日		1996年 平成8年		部材と健全度区分		損傷と主たる要因		確認された状況				所見									
	橋長		2.30		m		主桁		Ⅱ		⑥ひびわれ 経年劣化		0.1～0.2mmの漏水・遊離石灰を伴わないひびわれが、数箇所確認された。		ひびわれは表面的であり、鋼材まで達しておらず、前回点検から大きな進展が見られないため構造物の安全性に問題はないと判断できる。ただし、ひびわれの進行については今後も経過観察とする。							
	最大支間長		2.00		m		横桁等		-		-		-		-							
	総径間数		1		径間		床版		-		-		-		-							
	橋面積		13.8		㎡		橋台		Ⅰ		-		健全である。		-							
	斜角		-				橋脚		-		-		-		-							
	活荷重・等級		(25t)		(一等橋)		支 承		-		-		-		-							
荷重制限		無		t		高橋・防振橋		-		-		-		-								
管理手法		架替型				地覆		Ⅰ		-		健全である。		-								
幅員構成	全幅員		6.00		m		伸縮装置		-		-		-		-							
	有効幅員		2.70		m		舗装		Ⅰ		-		健全である。		-							
	車道幅・車線数		6.00		m 1		排水施設		-		-		-		-							
	歩道幅		左 右		- m		落橋防止柵		-		-		-		-							
	中央帯		-		-		照明施設		-		-		-		-							
	路肩		1.50		m																	
路線指定	地覆幅・高さ		左 右		- -		m m															
	第一次緊急輸送道路(県道19.52号線)に直接アクセス																					
	第二次緊急輸送道路(県道67号線)に直接アクセス																					
	市指定緊急輸送道路(市道)																					
	公共施設・病院等に直接アクセス																					
	通学路																					
	バス路線																					
	架替予定のある橋梁																					
	利便性の低下による影響が大きい橋梁																					
	利便性の低下による影響がある橋梁																					
【特記】																						
2016/11/28職員点検実施																						

点検調査(その2)	位置図			()値は推定	
(フリガナ) 橋 梁 名	キウリウトン8ゴウ	管理番号	012	所在地	自 埼玉県吉川市大字下内川2147
	木売落8号	路 線 名	市道1-325号線		至 埼玉県吉川市大字下内川2162

点検調査(その3)	現地状況写真						
(フリガナ) 橋 梁 名	キウリウトン8ゴウ	管理番号	012	所在地	自	埼玉県吉川市大字下内川2147	
	木売落8号	路 線 名	市道1-325号線		至	埼玉県吉川市大字下内川2162	
写真番号	1	撮影年月日	2023/10/31	写真番号	2	撮影年月日	2023/10/31
写真説明	側面	メ	モ	写真説明	側面	メ	モ
		左が起点側				右が起点側	
写真番号	3	撮影年月日	2023/10/31	写真番号	4	撮影年月日	2023/10/31
写真説明	全景	メ	モ	写真説明	全景	メ	モ
		起点より撮影				終点より撮影	

点検調査(その3) 現地状況写真							
(フリガナ) 橋 梁 名		キウリトン8ゴウ	管理番号	012	所在地	自	埼玉県吉川市大字下内川2147
		木売落8号	路 線 名	市道1-325号線		至	埼玉県吉川市大字下内川2162
写真番号	5	撮影年月日	2023/10/31	写真番号	6	撮影年月日	2023/10/31
写真説明	橋面	メ	モ	写真説明	床版	メ	モ
							
写真番号	7	撮影年月日	2023/10/31	写真番号	8	撮影年月日	2023/10/31
写真説明	橋台	メ	モ	写真説明	橋台	メ	モ
		A1				A2	

点検調査(その3) 現地状況写真							
(フリガナ) 橋 梁 名		キウリトン8ゴウ 木売落8号	管理番号 路 線 名	012 市道1-325号線	所在地	自 至	埼玉県吉川市大字下内川2147 埼玉県吉川市大字下内川2162
写真番号	9	撮影年月日	2023/10/31	写真番号	10	撮影年月日	2023/10/31
写真説明	支承	メ	モ	写真説明	伸縮装置	メ	モ
		A1				A1	
写真番号	11	撮影年月日	2023/10/31	写真番号	12	撮影年月日	2023/10/31
写真説明	高欄・防護柵	メ	モ	写真説明	排水施設	メ	モ
		起点右				排水ます	



点検調書(その6) 損傷写真										
(フリガナ) 橋 梁 名		キリウトシ8ゴウ		管理番号	012		所在地		自	埼玉県吉川市大字下内川2147
		木売落8号		路 線 名	市道1-325号線				至	埼玉県吉川市大字下内川2162
前 回					今 回					
写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26	部材種類	頂版	部材番号	01	2023/10/31	
損傷状況	うき	損傷度	e	備考	損傷状況	うき	損傷度	e	備考	
				主桁にうきが見られる。 150×500					頂版にうきが見られる。 150×500	
写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26	部材種類	頂版	部材番号	01	2023/10/31	
損傷状況	うき	損傷度	e	備考	損傷状況	うき	損傷度	e	備考	
				主桁にうきが見られる。 150×500					頂版にうきが見られる。 150×500	

点検調書(その6) 損傷写真										
(フリガナ) 橋 梁 名		キリウトシ8ゴウ		管理番号	012		所在地	自	埼玉県吉川市大字下内川2147	
		木売落8号		路 線 名	市道1-325号線			至	埼玉県吉川市大字下内川2162	
前 回					今 回					
写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26	部材種類	頂版	部材番号	01	2023/10/31	
損傷状況	漏水・遊離石灰	損傷度	c	備考	損傷状況	漏水・遊離石灰	損傷度	c	備考	
				主桁に漏水・遊離石灰が見られる。						頂版に漏水・遊離石灰が見られる。
写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26	部材種類	頂版	部材番号	04	2023/10/31	
損傷状況	ひびわれ(中・小)	損傷度	c	備考	損傷状況	ひびわれ	損傷度	c	備考	
				主桁にひびわれ(中・小)が見られる。 w=0.2						頂版にひびわれ(中・小)(パターン①②)が見られる。 w=0.2

点検調査(その6) 損傷写真											
(フリガナ) 橋 梁 名		キウリウトシ8ゴウ		管理番号	012		所在地	自	埼玉県吉川市大字下内川2147		
		木売落8号		路 線 名	市道1-325号線			至	埼玉県吉川市大字下内川2162		
前 回					今 回						
写真番号	5	径間番号	1	撮影年月日	写真番号	5	径間番号	1	撮影年月日		
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26	部材種類	頂版	部材番号	02	2023/10/31		
損傷状況	ひびわれ(小・小)	損傷度	b	備考	損傷状況	ひびわれ	損傷度	b	備考		
				主桁にひびわれ(小・小)が見られる。 w=0.1						頂版にひびわれ(小・小)(パターン①)が見られる。 w=0.1	
写真番号	6	径間番号	1	撮影年月日	写真番号	6	径間番号	1	撮影年月日		
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26	部材種類	頂版	部材番号	03	2023/10/31		
損傷状況	ひびわれ(中・小)	損傷度	c	備考	損傷状況	ひびわれ	損傷度	c	備考		
				主桁にひびわれ(中・小)が見られる。 w=0.2						頂版にひびわれ(中・小)(パターン①②)が見られる。 w=0.2	

点検調査(その6) 損傷写真												
(フリガナ) 橋 梁 名		キリウトシ8ゴウ		管理番号		012		所在地		自		埼玉県吉川市大字下内川2147
		木売落8号		路 線 名		市道1-325号線				至		埼玉県吉川市大字下内川2162
前 回						今 回						
写真番号	7	径間番号	1	撮影年月日		写真番号	7	径間番号	1	撮影年月日		
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26		部材種類	頂版	部材番号	02	2023/10/31		
損傷状況	ひびわれ(中・小)	損傷度	c	備考		損傷状況	ひびわれ	損傷度	c	備考		
				主桁にひびわれ(中・小)が見られる。 w=0.2						頂版にひびわれ(中・小)(パターン①)が見られる。 w=0.2		
写真番号	8	径間番号	1	撮影年月日		写真番号	8	径間番号	1	撮影年月日		
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26		部材種類	頂版	部材番号	04	2023/10/31		
損傷状況	ひびわれ(大・小)	損傷度	d	備考		損傷状況	ひびわれ	損傷度	d	備考		
				主桁にひびわれ(大・小)が見られる。 w=0.3						頂版にひびわれ(大・小)(パターン①②)が見られる。 w=0.3		

点検調査(その6) 損傷写真										
(フリガナ) 橋 梁 名		キリウトシ8コウ		管理番号	012		所在地		自	埼玉県吉川市大字下内川2147
		木売落8号		路 線 名	市道1-325号線				至	埼玉県吉川市大字下内川2162
前 回					今 回					
写真番号	9	径間番号	1	撮影年月日	写真番号	9	径間番号	1	撮影年月日	
部材種類	主桁	部材番号	01	2019/2/26	部材種類	頂版	部材番号	01	2023/10/31	
損傷状況	うき	損傷度	e	備考	損傷状況	うき	損傷度	e	備考	
				主桁にうきが見られる。 50×100,50×170,50×700					頂版にうきが見られる。 50×100,50×170,50×700	
写真番号		径間番号		撮影年月日	写真番号	10	径間番号	1	撮影年月日	
部材種類		部材番号			部材種類	頂版	部材番号	02	2023/10/31	
損傷状況		損傷度		備考	損傷状況	ひびわれ	損傷度	c	備考	
					頂版にひびわれ(中・小)(パターン①②)が見られる。 w=0.2					

点検調査(その6) 損傷写真									
(フリガナ) 橋 梁 名	キリウトシ8コウ		管理番号	012		所在地	自	埼玉県吉川市大字下内川2147	
	木売落8号		路 線 名	市道1-325号線			至	埼玉県吉川市大字下内川2162	
前 回				今 回					
写真番号		径間番号		撮影年月日	写真番号	11	径間番号	1	撮影年月日
部材種類		部材番号			部材種類	頂版	部材番号	03	2023/10/31
損傷状況		損傷度		備考	損傷状況	漏水・遊離石灰	損傷度	c	備考
								頂版に漏水・遊離石灰が見られる。	
写真番号		径間番号		撮影年月日	写真番号		径間番号		撮影年月日
部材種類		部材番号			部材種類		部材番号		
損傷状況		損傷度		備考	損傷状況		損傷度		備考

点検調査(その7) 部材番号図						
(フリガナ) 橋 梁 名	キウリトン8ゴウ	管理番号	012	所在地	自	埼玉県吉川市大字下内川2147
	木売落8号	路 線 名	市道1-325号線		至	埼玉県吉川市大字下内川2162

1 径間

The diagram illustrates the structural components of a bridge span. The top slab is represented by a rectangle with the label '頂版01' (Top Slab 01) to its left. Below it, the side walls are shown as two vertical rectangles, labeled '側壁01' (Side Wall 01) on the left and '側壁02' (Side Wall 02) on the right. The span is defined by two vertical centerlines, labeled 'A1' and 'A2' at the bottom. The entire span is enclosed within a light gray rectangular area.